第 2 回 MIRAI SAKAI EXPO 会議

次　第

令和 8 年 10 月 22 日　14:30～
堺市役所本館 3 階　大会議室

1 開会
　○堺市長　挨拶
　○堺商工会議所会頭　挨拶

2 議事
　○万博レガシーを活かした取組の進捗及び今後の展開について
　○令和 9 年度以降の進め方について
　○意見交換

3 その他連絡事項

4 閉会

＜配付資料＞
- 次第
- 参加者一覧
- 配席表
- 資料 MIRAI SAKAI EXPO 会議

（終了後、市長及び堺商工会議所会頭による囲み取材）

第2回MIRAI SAKAI EXPO会議　参加者一覧

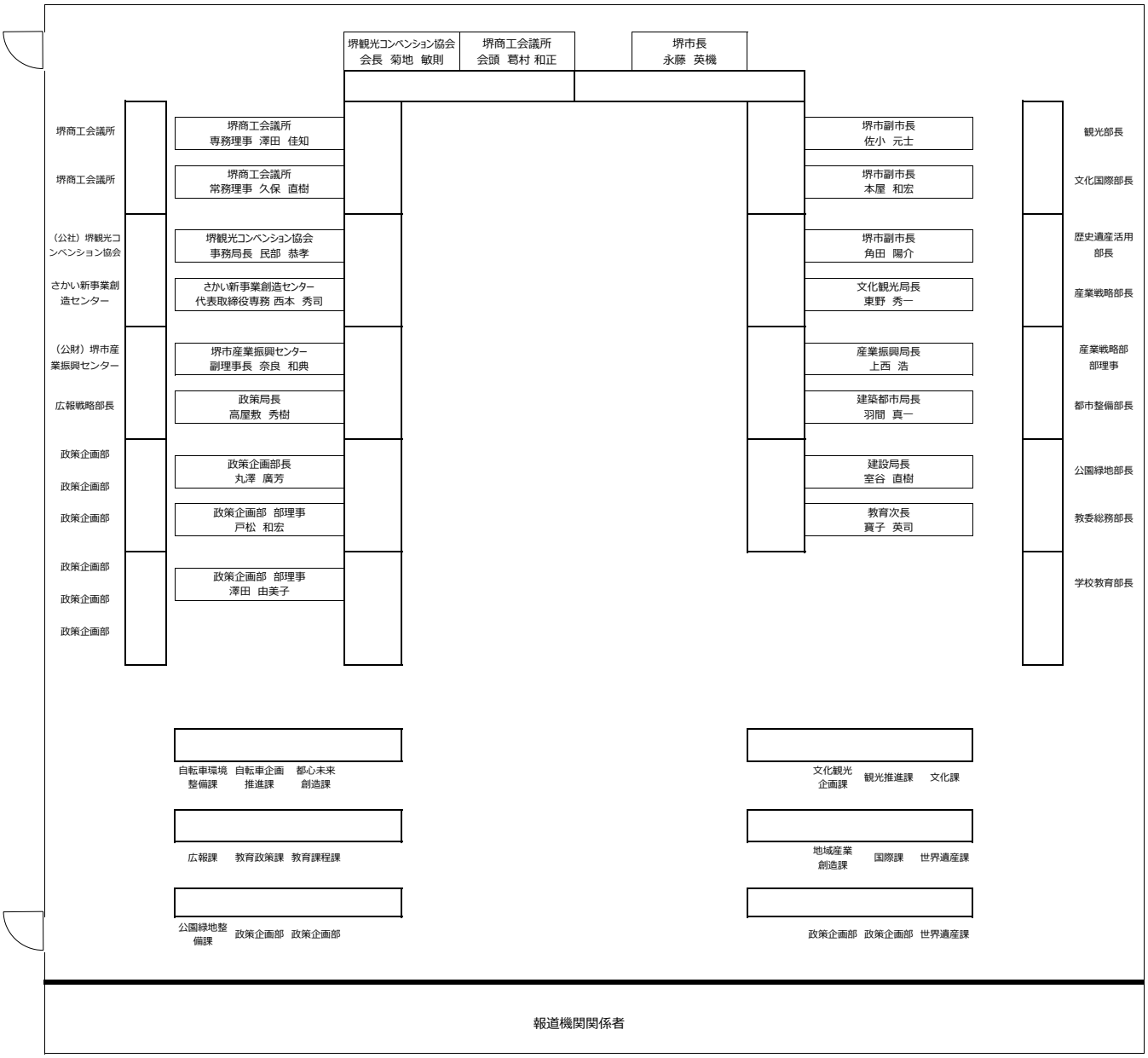
所属		氏　名
堺商工会議所　会頭		葛村 和正
公益社団法人堺観光コンベンション協会　会長		菊地　敏則
堺商工会議所　専務理事		澤田　佳知
堺商工会議所　常務理事		久保　直樹
公益社団法人堺観光コンベンション協会　専務理事		民部　恭孝
株式会社さかい新事業創造センター　代表取締役専務		西本　秀司
公益財団法人堺市産業振興センター　副理事長		奈良　和典
堺市	市長	永藤　英機
	副市長	佐小　元士
	副市長	本屋　和宏
	副市長	角田　陽介
	政策局長	高屋敷　秀樹
	文化観光局長	東野　秀一
	産業振興局長	上西　浩
	建築都市局長	羽間　真一
	建設局長	室谷　直樹
	教育次長	寶子　英司

※陪席者は記載を省略

大会議室1・2

第2回MIRAI SAKAI EXPO会議

配席表



MIRAI SAKAI EXPO

令和8年10月

第2回MIRAI SAKAI EXPO会議

■ 万博レガシーを活かした取組と今後の展開について

1　振り返り

- これまでの協議経過
- 万博レガシーを活かした取組の方向性

2　各取組の進捗状況と今後の予定

- 歴史文化資源を活かした地域活性化
- つながり・交流の継続・発展
- こどもたちの未来を切り拓く力の育成
- 生活の質の向上
- （参考）大屋根リングの木材活用

3　令和9年度以降の進め方

これまでの協議経過

○令和4年5月、大阪・関西万博開催に伴う堺への波及効果を最大化するため、堺市と経済団体等で構成するプロジェクトチームにおいて、効果的な取組の検討・協議。

○令和7年2月、万博開幕に向けて「2025年大阪・関西万博堺プロジェクト推進会議」に改称の上、万博開催中も含め全5回会議を開催し、随時ブラッシュアップを図り、公民一体となり全力を挙げて取組を推進。

○令和8年4月、「MIRAI SAKAI EXPO会議」を設置し、万博開催を契機とした取組を一過性のものとせず、得られた知見や取組の成果をレガシーとして継承・活用し、堺市の持続的な成長・発展につながる取組を協議。

令和8年4月　MIRAI SAKAI EXPO会議	
協議事項	▸ 閉幕後の取組状況の振り返りを踏まえ、万博レガシーの継承・活用について協議 ▸ 堺の万博レガシーとそれを活用した取組の方向性を確認 ▸ 各取組の内容とスケジュールを共有

万博レガシーを活かした取組の方向性

＜前回会議資料＞

堺の万博レガシー4項目

- 万博で明確化した人気の高い伝統文化体験
- 万博を契機に関心が高まった堺の新たな魅力
- 万博参加国等との新たな交流や連携
- 次代を担うこどもたちの未来に向けた行動

万博がもたらしたレガシー

万博が発信した生活の質を向上させる「未来社会のデザイン」や「いのち」の在り方

取組の方向性

歴史文化資源を活かした地域活性化

・誘客による市内消費の活性化
・地域産業の活性化

つながり・交流の継続・発展

・国際交流の継続、深化
・公民連携の推進

こどもたちの未来を切り拓く力の育成

・学びや体験機会の創出
・SDGsの達成

生活の質の向上

・新たな技術を活用した地域課題の解決
・文化芸術振興による市民生活の充実、地域への愛着の醸成

万博レガシーを上記の方向性と掛け合わせて施策事業を実施

都市像

「未来を創るイノベーティブ都市」

～ 変化を恐れず、挑戦・創造し続ける堺 ～

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化①-1

「世界遺産エリア」「環濠エリア」「堺東エリア」「堺ベイエリア」の4つの重点エリアの来訪者数や市内の観光消費額をKPIに設定し、万博を契機に磨き上げた世界遺産、茶の湯文化、伝統産業等を活用し、誘客を促進する。

文化観光局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
●「堺大茶湯」 大屋根リング木材の活用 ●仁徳天皇陵古墳周辺での謎解きイベント 世界遺産・気球シャトルバスの運行 ターゲットに応じたプロモーションの展開	**万博レガシーを活かした誘客促進** ▸堺市の魅力である類いまれな歴史文化資源を活用したテーマ別周遊ルートの提案・発信	令和元年度と同水準まで国内需要を回復させる ▸観光消費額　2400億円

■ 主な取組実績

世界遺産・気球シャトルバスの運行

- 市内周遊を促す世界遺産・気球シャトルバスの運行（3/20～）

ターゲットに応じたプロモーションの展開　等

- 「ドーセット バイ アゴーラ 大阪堺」で万博レガシーとして堺五月鯉幟やふとん太鼓を展示（4/13～5/31）
- アフター万博 クラゲ祭り「いのちを祝う」へのブース出展（8/8）
- 仁徳天皇陵古墳周辺での謎解きイベント及びクイズラリーの実施（9/12～11/30）
- ツーリズムEXPOジャパン2026での堺のレガシー展示紹介（9/24～9/27）
- 万博閉幕1周年イベント（ATC）への出展（10/11）
- ヨルダン・ポルトガルなど万博で交流が生まれた国との連携事業を堺まつりで実施（10/18）
- 大阪観光局が万博を機に構築した海外関係者とのネットワークを活用し、ファムトリップや商談会を通じて刃物の体験コンテンツなどのプロモーションを実施（随時・継続中）



ドーセット バイ アゴーラ 大阪堺での展示



ツーリズムEXPOジャパン2026での紹介パネル

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化①-2

文化観光局

■ 今後の予定

ターゲットに応じたプロモーションの展開　等

- 「大阪産（もん）」・「大阪産（もん）名品」を通じて大阪の「食」や地域の魅力を発信するイベント「OSAKA FOOD JOURNEY The Origin/大阪『食の原点へ』」への出展　（10/24～25）
- ポルトガルパビリオンのロープを再利用したアート作品やクラゲ館の「振るーと」展示によるさかい利晶の杜への来訪促進（～R9 3/31）
- 「ちょこっと万博レガシー・ウォーク＆スタンプラリーin堺区」と連携した市内周遊の促進（10/27～11/15）
- 万博レガシーをテーマとした「堺大茶湯」の開催（野点、現代アーティスト茶器やボヘミアンガラスを活用した茶会等 11/14）
- 「堺大茶湯」と連動した市内周遊の促進（ポルトガルパビリオンのロープ配布 11/14～15）
- 大阪観光局・世界をつなぐSUMO推進協議会と連携し、万博会場で人気を博した「SUMO EXPO」関連イベントへの出展（11/14）
- 「古墳サミットー世界の古代都市と王権のかたちー」における万博レガシー展示の実施（11/28）
- ミャクミャクを描いたフォトパネルや万博グッズを並べたフォトスポットを市内施設に設置（期間・場所については調整中）
- 大阪観光局・堺観光コンベンション協会と連携し、本物思考のインバウンド・ラグジュアリー層に向けて刃物や堺五月鯉幟を活用した高付加価値コンテンツの造成、プロモーションを実施（随時）

大屋根リング木材の活用

- リングの模型や記念品（キーホルダー）を活用した誘客・周遊の促進
- 移動式茶室の制作とワークショップの実施



OSAKA FOOD JOURNEY
The Origin/大阪『食の原点へ』



ちょこっと万博レガシー・ウォーク＆
スタンプラリーin堺区



堺大茶湯　※開催イメージ

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化②

「堺都心未来創造ビジョン」に掲げる「魅力を磨く」「魅力を結ぶ」「魅力を育てる」取組により、海辺を活かした居心地の良い都市空間の形成を進め万博レガシーを活かし、堺旧港の活性化に取り組む。

建築都市局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
● 「乙姫の休日。」開催 公民連携協議会等設立に向けた取組 ・準備組織等設立に向けた調整 ・参画予定事業者等の機運醸成 民間による海上交通等に関する取組 ・海上空間活用の促進	**万博レガシーを活かした堺旧港活性化** ▸ 護岸後背地を活用した交流空間創出事業により新たな賑わい拠点を設置 ▸ 堺旧港におけるイベントや海上交通といった公民連携協議会等による取組	国内外から人々が集う居心地の良い交流空間の形成

■ 主な取組実績

賑わい・交流の場の創出

- 交流空間創出事業者等の関係者と調整し、公民連携による「乙姫の休日。」の実施など今後の展開を検討
- 日本国際博覧会協会等と調整し、万博レガシーを意識したブース設置を検討

海辺空間活用による新たな魅力の創出

- 堺旧港のライトアップやアクセス改善等の実証に向け、企画立案・関係者協議を実施



海上交通停留所看板



万博スタンプ

■ 今後の予定

賑わい・交流の場の創出

- 交流空間創出事業者と連携した「乙姫の休日。」の開催（11/7、8）

海辺空間活用による新たな魅力の創出

- 試行的なライトアップ（11月実施）や案内サイン設置（11月～）の実証を実施



「乙姫の休日。」チラシ


堺旧港のライトアップイメージ

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化③

「堺市基本計画2030」に掲げる市内誘客や交流促進を目的に「大阪・関西万博」開催を契機に認知度が向上した広域的なサイクルライン等を活かした取組を継承・発展させる。

建設局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
アンバサダー委嘱 フォトフェスタ募集 ウォールアート募集 市内周遊イベント、自転車ツアー開催	**万博レガシーを活かした「サイクルシティ堺」の発信** ▸ サイクルライン沿線市と広域的な交流・情報発信 ▸ 都市魅力の強化・発信	「サイクルシティ堺」としての都市魅力の向上 ▸ アンケートで「サイクルシティ堺としての都市魅力がある」と回答した方の割合　70%

■ 主な取組実績

- 「サイクルシティ堺」アンバサダーの委嘱（5/7）
  （ツアー・オブ・ジャパン堺ステージの現場からの情報発信、ラジオやSNSでの発信）
- サイクルシティ堺フォトフェスタ2026の実施（応募数　139作品）
- サイクルライン沿線市とHP相互リンクの掲載



「サイクルシティ堺」アンバサダー
FM802 DJ　板東 さえか さん

■ 今後の予定

大和川リバーサイドサイクルライン沿線市との連携

- サイクルラインを活用した自転車ツアーの実施（11月）
- 沿線市イベントへの出展（10月、11月）

大和川沿川へのウォールアート制作による新たなフォトスポット創出（2月）



サイクルシティ堺フォトフェスタ2026
最優秀作品

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化④-1

堺産業戦略に基づき、未来を切り拓くチャレンジを後押しする。
万博レガシーを活かし、堺商工会議所、堺市産業振興センター、さかい新事業創造センター等と連携した事業者支援やイノベーション創出に取り組む。

産業振興局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
堺キッチンを活用したPR 伝統産業事業者、商店街ビジョン策定支援 市内企業による新事業の創出支援 アントレプレナーの育成やスタートアップ支援	**万博レガシーを活かした事業者支援・イノベーション創出** ▸ 伝統産業のブランド力向上、商店街ビジョンの実現、市内企業の製品等の実用化や成長産業分野への進出を後押し ▸ 交流から堺発イノベーションの創出まで切れ目ない支援を実施	▸ 堺伝匠館等の年間売上金額 600,000千円 ▸ イノベーション創出につながる事業数　累計130件

■ 主な取組実績

伝統産業が抱える課題解決支援

- 工場用建物取得、生産設備導入、操業環境改善など生産力強化に資する取組を支援（5月～）
- 次世代の担い手となる後継者の確保・育成支援（4月～）
- 万博閉幕1周年イベント（ATC）への出展（10/12）



sakai kitchen〈堺キッチン〉



歯科医療MaaS車両による診療

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化④-2

産業振興局

■ 主な取組実績

魅力発信による伝統産業のブランド化を促進

- sakai kitchen〈堺キッチン〉による湘南・函館での展示販売及びワークショップの実施、Instagramを活用した情報発信の強化（4月～）
  ※p.4に刃物の体験コンテンツなどのプロモーションについても記載
- 堺伝匠館で万博レガシーを活用した展示や万博をテーマとした和菓子作り体験の実施（6、8月）

商店街の活性化を促進

- 万博期間中に商店街が実施した地域発の新たな取組による商店街の活性化に向けた動きを加速させるため、中心市街地の商店街等とビジョン策定に向けた協議を実施（9月～）

市内企業による新事業の創出

- さかい健康医療ものづくり研究会として万博に出展した市内企業と、万博会場内に出展していた大手企業とのAI開発をテーマとしたマッチングが成立（9月）
- 万博会場交通ターミナル等で実証されたペロブスカイト太陽電池の市内での量産化を支援
  （令和7年3月、イノベーション投資促進条例により生産工場の整備計画を認定）

アントレプレナーの育成やスタートアップ支援によりイノベーションを創出

- 大阪・関西万博の成果を発展・継承する国際イベント「Global Startup EXPO 2026」のサイドイベントとして開催される「UMEKITA STARTUP SQUARE 2026」に万博出展企業を含む市内企業が参画（10月）
- 「Global Startup EXPO 2026」のサイドイベントにて、ソフトバンクと大阪公立大学が連携し、AIをテーマにしたスタートアップや事業者等の交流・共創を促進するイベントを開催（10月）

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化④-3

産業振興局

■ 今後の予定

伝統産業が抱える課題解決支援

- 生産力強化に資する設備投資、操業環境改善及び商品開発・販路開拓に向けた取組への継続支援
- 「堺刃物職人育成道場」実施による後継者の確保・育成・定着を促進

魅力発信による伝統産業のブランド化を促進

- sakai kitchen〈堺キッチン〉を活用したプロモーション強化による伝統産業の認知拡大、オープンファクトリーを通じた魅力発信
- 観光部局と連携し、観光資源と伝統産業を組み合わせた新たな効果的なプロモーションの実施
- 万博レガシーを活用した体験イベントなどによる堺伝匠館への誘客プロモーションの実施
- 世界最大級の国際消費財見本市アンビエンテへの出展をはじめとする海外における堺の伝統産業の魅力発信
  ※p.5に刃物や堺五月鯉幟を活用した高付加価値コンテンツの造成、プロモーションについても記載

商店街の活性化を促進

- 万博を契機とした商店街の取組等を活かしながら、商店街が様々な主体と協力して商店街ビジョンを策定する取組を伴走支援

市内企業による新事業の創出

- 堺市内企業間の連携による新製品・サービス等の創出促進を目的とした事業の実施
- 万博会場交通ターミナルで実証されたペロブスカイト太陽電池の市内での量産化を支援

アントレプレナーの育成やスタートアップ支援によりイノベーションを創出

- 万博出展企業をはじめ、新たなビジネスに挑戦する事業者に対し、実証機会の創出と社会実装を支援
- オープンファクトリーを通じて、ベンチャー・スタートアップの認知度向上やイノベーション創出に向けた機運醸成の取組を継続

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化⑤

大阪・関西万博で得られた知見をもとに、変化する社会環境に合わせて進化する市内の中小企業・小規模事業者の技術を活かし、産業の競争力と持続性を高め、地域の価値を内外に発信し、人材を呼び込む交流を促すことで、地域経済の活性化を図る。

堺商工会議所

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
下半期：産学官金連携交流会開催 下半期：オープンファクトリー事業の推進	**万博を活用した市内経済の活性化** ▸ 産学官金連携交流会の効果を検証し継続判断 ▸ 効果を検証し継続判断	産学官金連携促進によるイノベーションの創出 地元産業の認知度拡大

■ 主な取組実績

オープンファクトリー事業の推進

- ワークショップイベントinららぽーと堺　出展企業6社（8/1）
- さかいオープンファクトリー開催　参画企業32社（10/22～25）



8/1 ワークショップイベントinららぽーと堺



10/22~25 さかいオープンファクトリー

■ 今後の予定

産学官金連携交流会の開催

- 新技術の社会実装やイノベーション創出を推進する
  11/4開催　定員100名　大阪公立大学、桃山学院大学等
  ※次年度は大阪公立大学工業高等専門学校を含めた交流を予定

オープンファクトリー事業の推進

- 地元産業の認知度の更なる拡大、企業間の連携促進、人材確保・次世代社員育成等長期的な企業価値の向上をめざす

各分野における主な取組：歴史文化資源を活かした地域活性化⑥

横浜で開催される2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）において、大阪府、大阪市との共同による庭園作品の出展のほか、PRイベントの開催等を通じて万博レガシーを活用し、大阪・堺の歴史文化などの魅力を広く発信することで、本市の認知度向上と来訪意欲の醸成を図る。

建設局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
庭園作品の実施設計 → 庭園作品の現地工事 機運醸成PR活動（広報展開と企業周知による波及拡大）	**園芸博を通じた認知度向上・来訪意欲醸成** ‣ 庭園作品の出展（R9 3/19～9/26） ‣ PRイベントの実施	「ウェルビーイング」を実感できるより良い「未来社会」を「花とみどり」豊かな屋外庭園を通じて表現し、みどり豊かで潤いある都市空間を形成

■ 主な取組実績

第1回2027年国際園芸博覧会共同出展協議会

‣ 協議会の設立、庭園作品の出展コンセプトを「命の輝き、水と緑がつなぐ大阪の庭」に決定（R7 1月）

第2回2027年国際園芸博覧会共同出展協議会

‣ 園芸博覧会協会へ提出する庭園作品のゾーン※イメージ基本設計を決定（R8 3月）

※大阪の活気を感じる「水の庭」、大阪・堺の歴史を感じる「時をたどる道」、大阪の未来を感じる「未来のゲート」の3つのゾーンを設定



庭園作品イメージ図

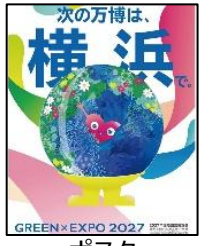
■ 今後の予定

庭園作品の工事・出展及びPR活動

‣ 第3回2027年国際園芸博覧会共同出展協議会開催

‣ 機運醸成PR（緑化祭等）、企業等への情報発信（メールマガジン等）

‣ 庭園作品の出展（R9 3/19～9/26）・PRイベントの開催



ポスター



機運醸成PR活動例

各分野における主な取組：つながり・交流の継続・発展①

「第2期　堺市国際化方針」に掲げる万博レガシー等を活かした幅広い分野での国際交流を推進するため、姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流を強化する。

文化観光局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
特別授業 海外姉妹・友好都市やアセアン諸国等との交流事業 外国公館等との連携事業 ●チェコ・イタリアへの代表団派遣	**万博レガシーを活用した国際交流強化** ▸ 特別授業の継続実施 ▸ 海外の各国・各都市と幅広い分野での交流を展開	次世代のグローバル人材が育つ状態 ▸ アンケートで特別授業が「良い学習になった」と答えた児童・生徒の割合 95%以上 ▸ 市民意識調査にて「おおむね1年以内に、外国人と交流した」と答えた人の割合　27.0%

■ 主な取組実績

国際交流の強化

- 友好都市・ダナン市、チェコ（ブルノ市・プラハ市）・イタリア（ヴェネツィア市）への代表団派遣
- 外国公館等との連携（国際ヨガDAY in 堺、フィリピン祭り大阪2026、堺まつり等）
- アセアン諸国等との交流（アセアンフォトコンテスト、学生オンライン交流等）
- 海外姉妹・友好都市との交流（バークレー市・ウェリントン市学生の受入等）



ヴェネツィア市長への表敬訪問時の様子

■ 今後の予定

国際交流の強化

- 特別授業の実施（令和8年度は7校、連携する外国公館は7か国）
- 外国公館等との連携（チェコフェスティバル、日伊外交関係樹立160周年記念コンサート、堺区ふれあいまつり）
- アセアン諸国等との交流（文化講座、民間大使プログラム、日本アセアンセンター共催ビジネスセミナー等）
- 海外姉妹・友好都市との交流（ダナン市民とのオンライン交流、バークレー市・ウェリントン市への堺市学生の派遣、姉妹都市　米国・バークレー市との60周年記念事業の実施）
- 庁内関係部局が海外都市等との間で連携・協力関係を構築できるようコーディネート



チェコフェスティバル開催時の様子

各分野における主な取組：つながり･交流の継続･発展②

大阪･関西万博を契機に連携を深めた企業･学校等とのつながりを発展させ、都市魅力の向上、交流機会の創出に資する取組を推進する。

政策局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値･めざす姿（2030年）
商品選定 プロジェクト内容調整等 商品販売 10/16～25	**万博を契機とした多様な主体との連携の推進** ▸ 本市の魅力発信に向けた取組の継続について協議 ▸ SDGsや教育など多様な分野での連携を検討	企業･大学など多様な主体と本市の連携･共創による都市魅力の向上

■ 主な取組実績

くら寿司と連携した「国内友好都市ハンズ･ハンズPROJECT」

- 本市及び国内友好都市の特産品を「鮮度くん」で連結し、くら寿司店舗で販売することで、本市の魅力を発信するプロジェクトの実施に向けた企画立案
- 特産品の選定に向けた商談会を実施
- 東京、大阪、和歌山、奈良のくら寿司91店舗で販売（10/16～25）



連結できる「鮮度くん」（イメージ）

■ 今後の予定

多様な分野での連携

- くら寿司による市内小学校への出張授業を実施
- 店舗での継続的な特産品販売等による魅力発信に向けた調整



堺市の特産品を活用した販売商品

各分野における主な取組：こどもたちの未来を切り拓く力の育成

教育委員会事務局

第4期未来をつくる堺教育プランに掲げている、めざすこども像「それぞれの世界へはばたく“堺っ子”」の実現のため、万博を契機とした取組の好事例や成果を活かし、次の時代の堺を担うこどもたちが多様な文化や価値観を理解し、自ら学び・行動できるよう様々な機会を創出する。

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
特別授業の継続実施 図書館でのブックフェア等・学校給食（世界の料理）の継続実施（随時） 図書館での大屋根リング活用	**万博レガシーを活用した学びの機会創出** ▸児童・生徒を対象とするアンケート等により効果やニーズを踏まえて、より実効性の高い取組を検討	それぞれの世界へはばたく“堺っ子”の育成 ▸「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合 小6：78.9% ➡ 小6：81.0% 中3：69.3% ➡ 中3：72.0%

■ 主な取組実績

学びの機会創出

- 市立図書館で世界の文化に触れるブックフェア・おはなし会　3回 ※全8回実施予定
- 学校給食（世界の料理）11回（7か国）※全17回（9か国）実施予定
- （再掲）外国公館等と連携した特別授業の実施　2校※全7校（7か国）実施予定



特別授業

■ 今後の予定

学びの機会創出

- 大屋根リングの木材を活用した市立図書館における展示用ブックトラックの制作　7台（中央図書館及び各区域図書館で活用）

各分野における主な取組：生活の質の向上

万博を契機に大学等と連携して実施したアバターを活用した実証的なプロジェクトを発展させ、住民サービスの向上に資する取組を推進する。
茶の湯文化をはじめとした文化芸術の振興により、心豊かな市民生活の実現や地域への愛着の醸成につなげる。

泉北ニューデザイン推進室

文化観光局

■ 取組スケジュール

令和8年度	令和9年度以降の取組展開	目標値・めざす姿（2030年）
行政分野における活用ニーズの確認 → アバター接客が一次対応として成立するかを検証 ●体験イベント開催（年2回程度）	**万博レガシーの社会実装** ▸一次対応としての効果、サービスの受容性検証 ▸拠点拡張と実装化の検証	アバター技術が行政・民間分野で持続可能なサービスとして実装化されている状態
●「堺大茶湯」 移動式茶室制作	**茶の湯文化の愛着醸成** ▸「堺大茶湯」の継続実施 ▸国際園芸博覧会での移動式茶室の活用検討	茶の湯が息づく堺の定着 ▸さかい利晶の杜、伸庵等での呈茶体験人数　26,000人

■ 主な取組実績

「堺アバタープロジェクト」

▸南区役所にアバターが動作するディスプレイを設置し、庁舎案内・窓口での発券案内を開始（9/30）

茶の湯が息づく堺の定着

▸堺高校生徒による大屋根リング木材を活用した移動式茶室デザイン案の模型制作（5～7月）



南区役所　北玄関

■ 今後の予定

「堺アバタープロジェクト」

▸アバター活用による来庁者対応の効果や区民サービス向上に資する活用可能性を確認

茶の湯が息づく堺の定着

▸「堺大茶湯-万博レガシー茶会」の開催、大屋根リングの木材を活用した移動式茶室の制作

茶の湯が息づく堺

（参考）大屋根リングの木材活用①

■ 大屋根リング

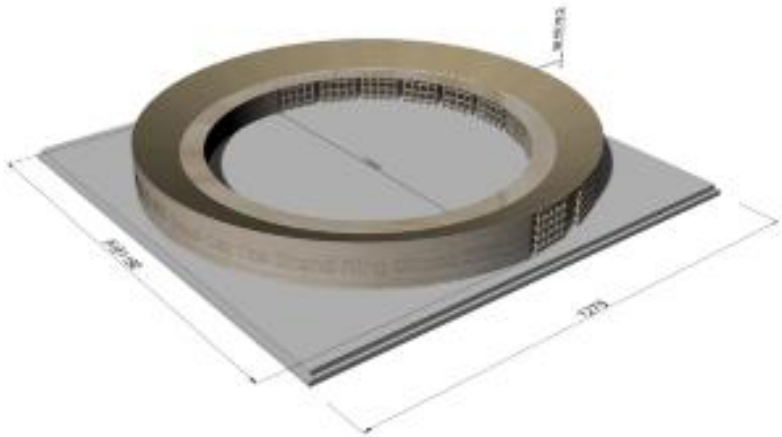
大屋根リングは「多様でありながら、ひとつ」という理念を体現した世界最大級の木造建築。その木材を再び活用し部材が形を変えて生き続けることで、万博の記憶と持続可能性のメッセージを次世代へ継承する。
この趣旨を踏まえ、堺市においても、大屋根リングの木材が持つ「温かみ」という特性を活かし、堺の歴史文化資源と結び付けた市内誘客・周遊や次世代への継承につなげる。

■堺市内でのレガシー活用 予定

大屋根リング模型

文化観光局

木材の質感を感じられるデザインの模型を制作する。
堺ならではの取組として、仁徳天皇陵古墳と大きさを比較できる展示を行い、令和9年春から市内観光施設等での巡回展示により誘客促進を図る。



記念品

文化観光局

木のぬくもりを直接感じられる手のひらサイズの記念品（キーホルダー）として活用する。
令和９年春に市内観光施設等と連携した周遊スタンプラリーを予定しており、景品として配付予定。



※画像は全てイメージです。完成品ではありません。

（参考）大屋根リングの木材活用②

■堺市内でのレガシー活用 予定

移動式茶室　文化観光局

令和9年度から、堺高校と連携して制作する移動式茶室を市内外の呈茶会等で活用し、茶の湯文化の浸透、茶の湯の精神への理解を促進する。
また、万博レガシーを次世代へ継承する。



展示用ブックトラック　教育委員会事務局

令和9年1月から、市立図書館で開催されるブックフェアや読み聞かせ会等で活用し、読書活動の推進を図る。



SMI　待合・休憩スペース　建築都市局

令和8年11月から、堺駅前及び堺東駅前のSMI都心ライン待合・休憩スペースでストリートファニチャー（ベンチ）として活用することで、大屋根リングの記憶を伝え、木のぬくもりを感じられる憩いと交流の場を提供する。



円形ベンチ　泉北ニュータウンデザイン推進室

令和9年3月から、堺市立ビッグバンに大屋根リングを連想させる木製の円形ベンチを設置し、来館者が木のぬくもりに触れる憩いの場を提供する。



※画像は全てイメージです。完成品ではありません。

令和9年度以降の進め方について

○「大阪・関西万博」を契機に高まった堺への関心をはじめ、海外の国々や企業等とのつながり、こどもたちが培った国際的な視野や地域への愛着を堺の万博レガシーとして継承・活用し、堺が有する貴重な歴史や地域資源、産業を次の世代に引き継ぐため、堺の魅力向上や地域産業の振興を図る。

○令和9年度以降も本会議で確認した4つの方向性のもと、各局区・団体がそれぞれの立場から堺の万博レガシーを活かした取組を進め、相互に連携し、継続・発展を図る。

万博レガシーを活かした取組の方向性

堺の万博レガシー4項目

- 万博で明確化した人気の高い伝統文化体験
- 万博を契機に関心が高まった堺の新たな魅力
- 万博参加国等との新たな交流や連携
- 次代を担うこどもたちの未来に向けた行動

万博がもたらしたレガシー

万博が発信した生活の質を向上させる「未来社会のデザイン」や「いのち」の在り方

取組の方向性

歴史文化資源を活かした地域活性化	つながり・交流の継続・発展	こどもたちの未来を切り拓く力の育成	生活の質の向上
・誘客による市内消費の活性化 ・地域産業の活性化	・国際交流の継続、深化 ・公民連携の推進	・学びや体験機会の創出 ・SDGsの達成	・新たな技術を活用した地域課題の解決 ・文化芸術振興による市民生活の充実、地域への愛着の醸成

万博レガシーを上記の方向性と掛け合わせて施策事業を実施

都市像

「未来を創るイノベーティブ都市」

～ 変化を恐れず、挑戦・創造し続ける堺 ～